

編集後記

編 者： 竹本修三・廣田勇・荒木徹

2009 年度に国際高等研究所のフェロー研究会として 3 回にわたり開催された「京大地球物理学研究の百年」の成果を、ここに纏めて皆様にお読みいただける運びとなったことを心より嬉しく思います。第 3 回セミナーの後の総合討論で参加者各位のご意見を伺ったところ、このような貴重な記録は、長い年月を経た後でも、次世代の人々に知って貰うことが大切であり是非印刷物にして残して欲しいとのご要望がありました。

それを受けて、世話人一同、可能な方策を採った結果、国際高等研究所のご理解を得て、同研究所のフェロー経費で集録の印刷が可能となりました。この集録には、セミナー講演録のみならず、この研究会の主旨と意義にご同意くださった何人かの方々からの特別寄稿も含めることができました。編集に当たっては、総合討論の各所で議論のあったように、この歴史研究会の集録を当事者の回顧録のみに留めず、歴史的事実の記載と学問的評価の両面を強く意識して纏める方針で臨みました。言い換えればこれは、京大地球物理学百年の歴史の「正史」と同時に「秘話」をも含めた「光と影」を浮き彫りにしたつもりです。巻末の教員リストは、夫々の関係部局に在職しておられた方々のお名前を通して時代とテーマを読み取っていただくための資料であり、講演録と特別寄稿はときに厳しく学問的成果の歴史評価となっています。しかし限られた 3 回のセミナーで総てを尽くすことはもちろん不可能です。今後、出来る範囲で論評と資料の追加を続けたいと願っていますので、各位のご理解とご協力を期待する次第です。

繰り返しになりますが、この歴史研究の集録は、関連する部局の図書室や研究室で保存され、20 年後 30 年後以上も後の世代の人々にとって先達の貴重な教訓として読み続けられることを念願してやみません。

最後に、この「京大地球物理学研究の百年」の一連のセミナーの重要性を十分にご理解いただき、多大のご支援とご協力を賜った国際高等研究所の尾池和夫所長を始め、同研究所のスタッフの皆様には深甚なる感謝を捧げます。また、研究会の中間報告を京都大学理学部地球物理学教室の同窓会 HP に掲載することをお認めいただいた田中寅夫地物同窓会長と実際にその作業をすすめてくださった同教室の福田洋一教授と高畑武志技術専門職員に厚く御礼を申し上げます。

京大地球物理学研究の百年

財団法人国際高等研究所フェロー研究会集録

発行日 2010 年 3 月 25 日

編 者 国際高等研究所フェロー 竹本修三

京都大学名誉教授 廣田 勇

京都大学名誉教授 荒木 徹

(非売品)